

島根県における地域（へき地）医療支援年表

| | |
|---------|--|
| S55年7月 | 自治医科大学第1期生を隠岐病院に派遣 |
| H4年8月 | 島根県へき地勤務医師確保協議会を設置 |
| H5年4月 | 島根県立中央病院に地域医療科を組織化 |
| H5年7月 | 島根県地域医療推進協会を設立 |
| H7年4月 | 地域医療支援ブロック制度を開始 |
| H8年10月 | 防災ヘリを利用した 島根県救急患者緊急搬送モデル事業を開始 |
| H9年8月 | 島根県ドクター・バンク運営を開始（H20に「赤ひげバンク」に統合） |
| H10年4月 | 防災ヘリを利用した 本土側医療機関医師同乗による離島救急患者緊急搬送制度を本格的に開始（県版ドクターヘリ） |
| H11年9月 | 県及び隠岐7町村で 隠岐広域連合を設立 |
| H11年11月 | 防災ヘリによる 離島輸血用血液緊急輸送制度を開始 防災ヘリによる 離島救急患者緊急搬送を拡充（精神保健指定医も同乗） |
| H11年11月 | 隠岐島遠隔医療支援システムを開始 |
| H12年4月 | 島根県へき地代診医派遣制度を開始 |
| H14年2月 | 防災ヘリによる 離島救急患者緊急搬送を拡充（海上保安庁や他県ヘリにも医師同乗） |
| H14年5月 | 緊急へき地等医療支援対策事業を開始 ・赤ひげバンク（医療人材センター）を創設 ・へき地医療奨学金貸与制度を創設 ・地域医療等研修を開始 |
| H14年6月 | 島根県へき地等医療支援会議、へき地等医療支援機構が発足 |
| H15年3月 | 島根県へき地医療支援計画を策定（H25年に改訂） |
| H15年4月 | へき地医療拠点病院を初回指定（8病院 現在18病院） |
| H15年12月 | 専門医養成プログラム協力病院連絡会開催 |
| H16年3月 | 「へき地」から「地域」へ用語変更（ex.島根県地域医療支援計画、診療所代診医派遣制度、地域医療奨学金、地域医療支援会議、地域医療拠点病院） |
| H16年4月 | しまね地域医療支援センターを開設 専門医養成プログラムを開始（現在の地域勤務医師確保枠） 島根県知事から島根大学学長・医学部長・附属病院長へ「地域医療確保に関する要望書」提出（4月1日） |
| H16年12月 | 臨床研修病院連絡会議を開催 |
| H17年4月 | 研修医等定着特別対策事業を開始（H20から島根大学に委託） |
| H18年4月 | 医師確保緊急対策事業を開始 ・医師確保対策室の設置（医師確保チームによるアクティブプロジェクト） ・へき地医療奨学金貸与制度を医学生地域医療奨学金に拡充（貸与・返還免除要件緩和、島根大学地域枠推薦入学者奨学金を追加） ・しまね医学生特別奨学金を創設 ・しまね研修指導医センター事業を開始（H19.1.1専任医師配置） |
| H19年4月 | 医学生地域医療奨学金、地域枠推薦入学者奨学金の枠拡大 女性医師就業支援事業を開始 |
| H20年4月 | 自治医科大学卒業医師の専門医研修制度を創設 |
| H21年4月 | 緊急医師確保対策枠奨学金貸与開始（～H29年度まで） 夢実現進学チャレンジセミナー事業を開始 |
| H22年1月 | 地域医療再生計画を策定し、事業を開始 |
| H22年4月 | 島根大学に寄附講座（地域医療支援学講座）を設置 |
| H23年8月 | 島根大学医学部及び島根県に「しまね地域医療支援センター」を設置 |
| H25年4月 | 一般社団法人「しまね地域医療支援センター」を島根大学医学部内に設置 |
| H26年10月 | 地域医療介護総合確保基金の県計画を策定し、事業を開始 |